

# 飢餓対策ニュース

わたしから始める、世界が変わる



第2教室完成を喜ぶフィリピン・マブハイ小学校の子どもたち  
(6頁にバルナバプロジェクト報告)

## わたしから始める、世界が変わる 地域変革の鍵、人財育成…SALTYとLIGHTSの生き方③

日本国際飢餓対策機構 啓発総主事 田村治郎

地域変革を担う人財育成セミナーによって、一人一人の意識変革を促していくのが「SALTY&LIGHTSな生き方」の学びです。

前回はそのうち人財育成の鍵となるSALTYな生き方をご紹介しました。そのSALTYな生き方のS、Serve(枝)「わたしから仕える」こと、を発展させたのがLIGHTSな生き方です。これも文字通り「光」を意味します。光は闇の中で隠れているものをあらわにするように、不正に甘んじることなく正義を愛し、光がぬくもりを持つように、人々がその持てる能力を引き出し用い生かして行けるように導く、リーダーシップを表します。そのリーダーシップは、私たち個人の成長だけではなく、家庭・地域社会・職場・国・世界において塩となり光(LIGHTS)となるように後押しをするものです。

そのような生き方「LIGHTS」は言葉の頭文字から学ぶことができます。LはLead(リードする)、IはInitiate(始める)、GはGrow(育てる)、HはHumility(謙虚さを持つ)、TはTeamwork(チームワーク)、そして最後のSはStrategy(戦略を持つ)です。SALTY同様に順番が大切です。

L、Lead(リードする)は、自分が置かれた場所(家庭、職場、学校、教会など)で率先してリードする姿勢から始

まります。Initiate(始める)は、自分ができること、またやるべきことに対して現状維持で満足せず常に最善の方法を求める姿勢です。Grow(育てる)は、このLeadershipに生きようとする他のリーダーを育成してゆく姿勢です。Humility(謙虚さを持つ)は、リーダーであることは他者に仕えることであると常に意識する姿勢です。「高ぶりは破滅に先立ち、心の高慢は倒れに先立つ」箴言16章18節。Teamwork(チームワーク)は、「早く行きたければ一人で、遠くに行きたければ皆で」と言う諺のように、人々がなすべきことを行えるように動機づけていく姿勢です。最後のStrategy(戦略を持つ)は、直面する問題に対処しながらも、巧みな現状分析や目標設定を持って問題が発生する前に対応していく姿勢です。

以上の「SALTY&LIGHTSな生き方・地域変革のための人財育成セミナー」では個人用ワークブックを用いて自分の抱える課題や変革が必要な事柄、また習得すべき項目や自らが置かれているコミュニティの課題などを洗い出します。一人一人の内側から意識変革がなされる時、「わたしから始める」人々が起こされ、「世界(地域)が変わる」というゴールを目指して取り組んでいくことができるのです。(連載終了) ①と②は本紙2月号と4月号に掲載

# 南スーダン マブイ小学校 給食支援



## 村人自身による地域変革の取り組みが始動

世界で一番新しい国、南スーダン（2011年7月独立）。しかし、政治的また民族的な理由で、独立後も紛争が絶えません。紛争の影響は国中に及び、比較的安全な場所においても、あらゆる分野で開発の取り組みに遅れが生じており、人々の暮らしはなかなかよくなりません。そんな中、西レイク州の州都ルンベックで地域変革プログラムを実施している日本国際飢餓対策機構の現地パートナー団体「ライフ・イン・アバンドランス（LIA）」は、州内の2つの保健施設で毎年1,500人以上の人々が病気の治療を受けることができるように、また、450人の危機的状況にある子どもたちが学校に通って初等教育を受けることができるようにプログラムを実施してきました。その一環として、日本国際飢餓対策機構は、2012年よりマブイ小学校の学校給食を支援してきました。

### 8割の子どもが好成績

現在、マブイ小学校には407人の子どもたちが通っており、そのうちの138人（33.9%）は女子です。

そのマブイ小学校では、1日1回お昼の時間に、安価で栄養価の高い米と豆の給食が407人の生徒全員に提供されています。学校給食のおかげで、子どもたちは学校に通い続けしっかりと勉強することができるようになりました。昨年の試験では、80%以上の子どもたちが、平均で80点という好成績を収めました。

### 地元グループの集まり CHEEM

給食を作ってくれているのは、地元教会のメンバーなど地域のボランティアの方々です。LIAはこれまで、地域の人々と共に開発の取り組みに携わることで、250人以上の人財を育成してきました。村の人々は給食の調理だけでなく、学校のボランティア教師としての働きや地元の資源を有効活用して小学校に新たな教室を作るなど、地域開発を自分たちで担い始めています。こうして開発に携わってきた地元グループの集まりは、村の人々の健康、教育、エンパワメント（力づけ）のための働きの頭文字を取ってCHEEMと名付けられ、2017年2月から正式に活動を



始めています。

このルンベックの地域変革の取り組みが、持続して行われるように、今後は外部への支援の依存を徐々に減らしていくことに重点が置かれていきます。その間も、最も影響を受けやすい子どもたちを取り巻く環境が守られ、就学率が更に安定し、教育の質が向上することを願って学校給食は継続される予定です。

CHEEMの組織が安定し、地域の人々が開発の取り組みを続けていけるように、引き続き応援をよろしくお願いたします。

マブイ小学校給食支援のために、ぜひ**ハンガーゼロサポーター**となってください！  
最終面をご覧ください。



T-POINTを使って  
募金ができます！

T-POINT募金



日本での便利な生活に慣れている者にとってはボリビアでの生活は不便だと感じることも多々ありますが、“これはいい!”と思う、ボリビアならではのものや楽しみもあります。今回はその中から“素朴なもの、自然の恵み”の幾つかを紹介したいと思います。

まず私が日常的に楽しんでいるのは、何と言っても果物の種類の多さ。日本では価格も高くなかなか食べられない輸入品の果物が、ここボリビアでは地元で熟したおいしい状態であつ手頃な値段で手に入るので、街ではふんだんに食べることができます。例えばマンゴー、パパイヤ、スターフルーツ、グアバ、パッションフルーツなど。またチリモヤ(日本名カスタードリング)など日本であまり見かけない果物も存在します。

### とっても美味しい石焼料理

また私が大好きなボリビア料理の一つ“watiaワティア”は、田舎地域で特別なお祝いの時にしか作らないまさにスペシャル料理、簡単に言えば“土の中で調理する、石焼ジャガイモ料理”です。

作り方は、まず地中に穴を掘り、大きめの石を沢山入れ火をおこして焼き石を作ります。その間、その上に小さな泥かまの窯を作り、食材を入れるための入口を開けておきます。そして下の石がアツアツに熱したら、窯の中に“塩のみで味付けした鶏肉を入れた鍋”

## 変わるものと 変わらないもの



ボリビア多民族国  
駐在 小西小百合

ボリビア  
キャンプ  
8/14~26  
(P.8にご案内)  
申込受付中

を蓋ふたをしたまま置き、その周りに皮つきのジャガイモと、さやに入ったままのそら豆を一緒に入れて、すでにアツアツになっている泥の小山をつぶして食材をおおいます。約一時間待ってから掘り返して土を取り除くと、ホッカホカで香ばしい料理の出来上がりです。鶏肉は柔らかくジューシーで、塩だけの味付けとはとても思えないほどおい



しく、香ばしいです!思い出しただけでもノドがゴクン!となるくらい。あ〜、一度皆さんにも食べさせてあげたいです!

電気もガスも使わないのですのでく手間がかかりますが、だからこそ本当に美味しいものができる。地元ならではの知恵を使って作られる料理の中に、昔から続いている良きものを感じます。これらのものが、彼らの文化としていつまでも変わらず息づいてほしいと願います。

### 8月のキャンプにご参加ください!

さて今年8月にはJIFHの「サマーキャンプinボリビア」が実施されます。私と一緒に田舎の人々や子どもたちとの交流やスポーツ体験、地域開発についての学び、そしてボリビア料理を体験しませんか? 恐竜の足跡観光やワイルドな洞窟探検ツアーなど楽しみも盛り沢山です。

◎皆さんぜひお越し下さい。多くの方々のご参加をお待ちしています!

# がっこう 学校に行けない 子どもたち

②  
 Bangladesh  
の女の子

みなみなみ



ここは Bangladesh  
こんにちは きみは  
中学生かな?

わたし  
学校には  
行ってないの

え  
どうして?

もうすぐ  
結婚するから  
学校はやめたの

私も14歳で結婚して  
学校を辞めたわ

私は15才で結婚  
家事と育児だけの  
毎日よ

Bangladesh  
では  
十代で結婚させられる  
女の子が  
たくさんいるのよ



えー  
中学行かずに  
結婚???

パウラ、  
お前の娘たちも  
15才と18才だろ  
もうとっくに嫁に  
いってる年だぞ

なんでいつまでも  
結婚させないんだ?

まわ  
りから  
そう言われ続けて  
きたけれど・・・

いやよ!  
娘たちには学校を  
続けさせるわ!





私は12才で結婚  
して13才で  
娘を産んだ

その頃は体もまだ小さく  
赤ちゃんも弱くて  
とっても大変だった

子どもを育てることも  
病気になる  
暮らし方も何も  
わからない

え〜! 13才で  
お母さんに?

勉強できなかったから  
知らないことだらけ

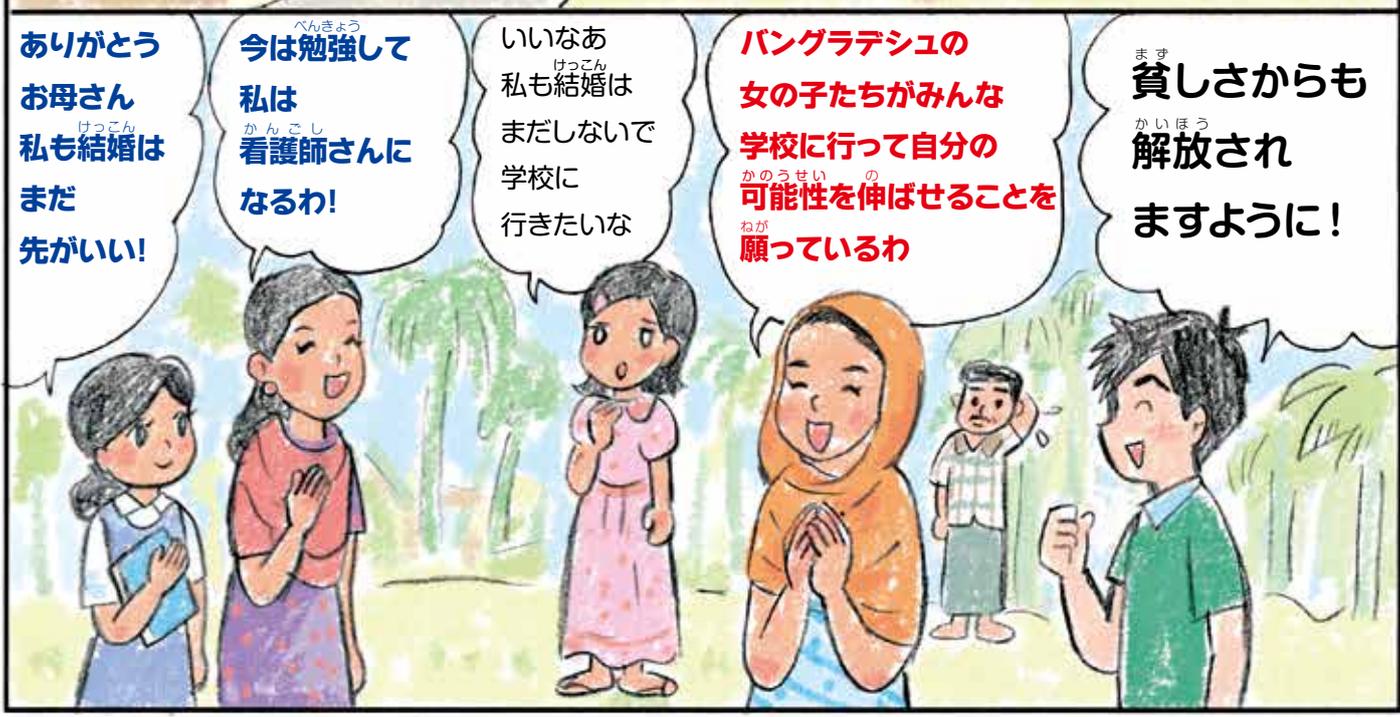


まず貧しくても  
自分でお金も  
稼げないし

つらくて悲しくて  
学校に行きたかったと  
何度も思ったわ

娘たちには  
そうではなく  
子ども時代を  
のびのびと  
過ごして  
ほしいの

そして 学校で勉強  
して自分で考えたり  
生活できる力を身に  
つけてほしいのよ



ありがとう  
お母さん  
私も結婚は  
まだ  
先がいい!

今は勉強して  
私は  
看護師さん  
になるわ!

いいなあ  
私も結婚は  
まだしないで  
学校に  
行きたいな

バングラデシュの  
女の子たちがみんな  
学校に行って自分の  
可能性を伸ばせることを  
願っているわ

まず貧しさからも  
解放され  
ますように!



## バルナバプロジェクト

2017年3月28日、フィリピン、サマール島マラブット地域にあるマブハイ小学校で2つ目の教室完成を祝うセレモニーが行われました(1つ目は2015年8月完成)。

## 待望の2つ目の教室が完成

式典には、2つの教室建設のために日本で活動してきた大阪シオン教会を中心とするバルナバプロジェクトのメンバー7名とJIFHスタッフが出席し、学校に通う子どもたちや教師、保護者らと共に教室の完成を盛大にお祝いしました。

この学校は2013年11月に発生した巨大台風ヨランダによって甚大な被害を受けました。翌年日本から数名の若者が現地を訪問し、子どもたちがまだ狭い仮教室で勉強をしている状況を目の当たりにして「子どもたちのために教室を建ててあげたい」という思いが与えられ、バルナバプロジェクトが始まったのです。建設費用を集めるために自分たちで作詞作曲したオリジナルCDなどを日本で販売したり、バザーを行うなどして地域の方々や他教会の皆さんにも

協力をお願いしました。

今回で4回目のプロジェクトチーム派遣となり、メンバーと地元の人々との間に深い絆ができていたように感じました。新しい教室で勉強をすることになる子どもたちにインタビューしたところ、次のような返事が返ってきました。

「以前は仮の教室で勉強をしていたので、雨が降るたびに濡れてしまって、授業に集中できないで困っていたんだ。新しい教室はぼくたちにとって本当に大きな助けになっているよ」(Janfulくん6年生)

「支援してくださった皆さんに心から感謝しています。卒業までこの教室で勉強をがんばります」(Roseさん5年生)

式典後はバルナバプロジェクトのメンバーから日本から持ってきたオリジナルTシャツがプレゼントされ、子どもたちは大喜びでした。さらに教室で「フルーツバスケット」をしたり、バルーンアートなどをしたりして交流を深めました。

### 愛し愛される喜び

「私がフィリピンに行くのは3回目でしたが、完成した教室を見るのは初めてだったので、見た



瑠香

時はすごく感動しました。セレモニーのために前々から地域の人々が歌やダンスを練習して披露してくれたり、スピーチの時には覚えた日本語を使って話してくれたり、1つ1つがすごく嬉しかったです。子どもたちは、一緒に遊んでいる時も私たちの名前を覚えていてくれたり、『次は、いつフィリピンに来るの』と聞いてきたり、今回来られなかったメンバーのことも『あの子はどこにいるの』などと、すごく関心を持って聞いてきました。その姿を見た時に、私たちがフィリピンの国や町、そこに住む人々を愛しているように、彼らも私たちを愛してくれていることを気づかされました。」(安達瑠香)

回 回 回

台風被害から約3年半が経過し、町は元の活気を取り戻しつつあります。今回の台風の傷跡から生まれた愛の絆が、フィリピンで、日本で、さらに広がっていきますように。(報告：JIFH吉田知基)



▲被災家庭を訪問中の安達牧師完成セレモニーの1コマ



バルナバプロジェクトの応援は、大阪シオン教会 TEL:072-964-5144まで



# 春東西で 支援の集い

2017年春、各地で災害被災者の復興や世界の子どもたちを応援するチャリティーコンサートや国際交流のコンサートが開催され、支援と交流の輪が広がりました。



## 常総水害復興支援コンサート

(茨城県常総市／4月8・9日)

堤防が決壊して多くの被害を受けた常総水害から1年半が過ぎ、市内は堤防や住宅の再建が進んでいます。復興に取り組む私たちの姿を見てほしい、と被害地域の水海道森下町と橋本町内会の皆さんが、当機構の森祐理、ソン・ソルナム両親善大使を招いて「常総水害復興支援コンサート」を開催しました。



両日とも100名を超える方々が来会し、演奏とお話で心とむひとときを過ごしました。これまで森、ソルナム親善大使は同地での慰問を続けて来られ、町の皆さん

からの「ぜひもう一度」との声でコンサートが実現、市長さんもかけつけてくださいました。

## しおんかおり 紫園香 愛のフルートコンサート

(東京都内／4月9日)

フルート奏者の紫園香さんによる「愛のフルートコンサート」が新宿のムラマツホールで開催され、約80名が来会されました。紫園さんは、当機構が給食支援をしているケニア・コイノニア教育センター訪問をきっかけに応援を続けておられ、当機構との共催コンサートが実現しました。(飢餓対策ニュース1月号) 今回はチャイルドサポーターを紹介する機会として企画、演奏の合間にサポーターさんが子どもとの交流の喜びを語ってくださいました。また支援地の子どもたちの過酷な現状

の報告を聞き「本当に来て良かった」、「次回も楽しみにしています」との声をいただきました。演奏や会場提供など、様々なご協力をしてくださった紫園さんに感謝いたします。

## セントアンドリュース学校ゴスペルコンサート

(滋賀大津市・兵庫芦屋市／4月5・9日)

昨年に続きケニアから来日した国際学校の中学生(29名)によるゴスペルコンサートが、近江市と芦屋市のキリスト教会で開催されました。引率の日本人職員Yukaさんは「前回のツアーが子どもたちにとっても良い影響を与えました。ケニアしか知らな



かった子どもたちが、異なった文化や日本人にふれて自分を見つめ直す機会となり、学校や家庭での態度によい変化が生まれました」「干ばつや飢餓

のイメージだけでなく、明るい歌やダンスの生き生きとしたアフリカの姿も知ってもらえたら」と話されました。ケニアの若者たちのために会場提供をくださったキリスト教会(当機構支援団体)に感謝します。近隣から来会された方々とも温かい国際交流のひとつとなりました。



JIFH親善大使を招いてのチャリティーコンサートや各種の自主イベントを開催して共にハンガーゼロの実現を目指しませんか? 企画段階での相談でも構いませんので、東京事務所もしくは各スタッフにご連絡ください。

▶ルワンダ農民を応援



5/20⑤ 佐倉市民音楽ホール  
メサイアコンサート  
佐倉メサイアをうたう会  
[チケット]Tel.080-3503-1066



7/30⑥ ZEPP東京  
ツアーファイナル ワンマンライブ  
ナイトdeライト  
[チケット]night-de-light.com/shop/

2017  
今後開催の  
コンサート!



ナイトdeライト  
(JIFH親善大使)

◀彼らの挑戦を応援しよう



日本国際飢餓対策機構(Japan International Food for the Hungry: 略して JIFH)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、人材育成、海外スタッフ派遣、飢餓啓発などに活動を広げてきました。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、20カ国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころからだの飢餓」に応える活動をしています。

★T-POINTを利用して「南スーダン・マニイ小学校給食支援」ができます。現在までに385415ポイント(円)のご協力(3640件)がありました。募金はT-POINT募金で検索

## 2017夏 ハンガーゼロ・ファシリテーター トレーニング(沖縄で開催!!)

「いつか海外で働きたい」「なぜ貧しい国があるの」、「興味はあるけど、開発途上国で活動、となるとちょっと心配…」という方にもおすすめです。

飢餓や貧困、国内外で多発する災害対策について講義とグループワークで学ぶことができます。ぜひご参加ください!

お問い合わせ、お申込みは下記まで

【日時】 2017年8月15日(水)~19日(日)

【会場】 糸満青少年の家  
〒901-0313 沖縄県糸満市賀数347

【費用】 30,000円(交通費は参加者負担)

【締切】 7月21日(金)

【定員】 15名(定員になり次第、締め切り)

★お問い合わせは東京Tel:03-3518-0781まで

## ココナッツの殻のアクセサリー

貧困生活から抜け出したい! そんな願いとともに届いたフィリピンからのフェアトレードグッズ。

【3種のデザインからA⑧タイプ】

①十字架

②ハート

③ダブルリング

④ピアス

各1,000円+送料  
600円

合計税込1,600円

⑤ネックレス1,500円+送料600円

合計税込2,100円

④⑤セット税込2,500円※送料サービス

申込時、デザイン番号とピアスカネックレスかをご指定ください。初回入荷分が無くなり次第終了させていただきます。

【問合せ】キングダムビジネス

〒540-0026 大阪市中央区内本町1-4-12NPOビル402

TEL:06-6755-4877 FAX:06-6755-4888

メール: customer@kbwin-win.org

Web: キングダムビジネスで検索。



ネックレス

ピアス

## サマーキャンプinボリビア

「宝探しの旅」へようこそ!

8月のボリビアサマーキャンプの申込受付中です。ぜひ参加をご検討ください。先着順となります。現地では、小西小百合駐在員が随行、子どもたちとの交流や支援地視察、恐竜の足跡観光などを行います。

【旅程&代金】8月14日(月)~26日(土)〈13日間〉

①早割価格34万5千円(6月9日までの申込の場合)

②通常価格35万円

※①②別途に空港税、燃油サーチャージが必要となります。

募集予定人数12名(最少催行人数10名、JIFHスタッフを除く)

問合せ・申込み:東京事務所 電話03(3518)0781

eメール:jifhtokyo@gmail.com



## ハンガーゼロ サポーターを 大募集中!!

現在までに  
4287口

## 今すぐ▶▶▶ 各種支援のお申し込みができます!!

●まず右の必要事項に記入して、点線の枠部分を切り取りハガキに貼って、下記の大阪事務所宛に郵送、又はこの頁をコピーして、ファクシミリで申し込みください。確認のための必要書類等を送らせていただきます。

お電話でも申し込みできます。各事務所までおかけ下さい。

- ハンガーゼロサポーターとして協力します。  
毎月( )口 (1口1,000円)
- チャイルドサポーター(子ども1人4,000円)になりたいので説明書(申込書)を送ってください。
- 海外スタッフサポーターとして協力します。  
毎月( )口 (1口1,000円)
- JIFHサポーターとして協力します。  
毎月( )口 (1口500円)
- 郵便自動引落し申込書を送って下さい。
- その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

フリガナ 氏名: \_\_\_\_\_ 男・女

〒 \_\_\_\_\_ 住所: \_\_\_\_\_

..... (電話) .....

▼申込日: \_\_\_\_\_年 月 日▼NL 322号

**FAX・072-920-2155**

■発行者 岩橋竜介

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.jifh.org/>  
eメールアドレス [general@jifh.org](mailto:general@jifh.org)  
フェイスブック <https://www.facebook.com/hungerzero>

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト

●郵便振替 00170-9-68590 / 日本国際飢餓対策機構

●他の金融機関からの自動振替 ●クレジットカード、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1  
(広島) TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155  
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 00Cビル517号室  
(東北) TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782  
愛知 〒460-0012 名古屋市中区千代田2-19-16 千代田ビル3F  
TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132  
沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾン久米202号  
TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216  
U S A Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa  
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605  
TEL(510)568-4939 FAX(510)293-0940

毎月、飢餓対策ニュースを皆様にお届けするために、ひばり障害者作業所(八尾市)、生活愛、関西地区のボランティアの皆様が送付作業の協力をして下さっています。